

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52302	教育課程論 Theory of Education and Child care a Curriculum	太田美鈴	○	共通	2	選択	2前期

科目の概要

カリキュラムには、「子ども」をどのような存在として捉え、保育を目指しているのかという根本的な問いが描き出されるものである。そこで、それらを実現する方法を考え、それによって導き出される全体的な計画・教育課程の編成と指導計画のあり方や作成方法を身に付ける。また、指導計画を作成するための、子ども観察の方法と記録の仕方を理解する。計画・実践・評価・改善の過程を理解し、幼児教育及び保育の現場で活用できる知識と技能を修得する。★幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
① 全体的な計画・教育課程、指導計画の意義と目的を理解する ② 乳児保育、幼児保育における指導計画をデザインする ③ 長期・短期・様々な指導計画の実践展開をする ④ 保育の計画のPDCAサイクルを理解し、自己評価の必要性を知る ⑤ 様々なカリキュラムを把握し、カリキュラム・マネジメントを理解する	① 全体的な計画・教育課程、指導計画の意義と目的を述べる ことができる ② 乳児保育、幼児保育における指導計画を作成することができる ③ 長期・短期・様々な指導計画を作成し実践展開ができる ④ 保育の計画のPDCAサイクルと自己評価を理解、活用することができる ⑤ カリキュラム・マネジメントの意義や重要性を説明することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	年齢に合わせ指導計画を作成する。
	働きかけ力	
	実行力	課題に沿って指導計画を作成する
考え抜く力	課題発見力	事例を読み解き、指導計画の構成を理解し実践に結び付ける
	計画力	
	創造力	豊かな発想をもち、子どもの発達過程を予測して実現性の高い指導計画を作成する
チームで働く力	発信力	立案した指導計画を分析し説明することができる
	傾聴力	他者の計画、分析を聞く中で自分なりの意見や考えとを比較し再構築できる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『保育カリキュラム論—計画と評価—』建帛社 豊田和子・新井美保子編
 参考文献：『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『保育所保育指針解説書』厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館、教育・保育実習実技ガイド、ひかりのくに・教育・保育実習安心ガイド、ひかりのくに配布するプリント

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育実習、保育実習、保育・教職実践演習
 資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
保育者を目指す者として自覚をもって受講すること。 常に、「自分が保育者の立場だったらどのような行動をとるだろうか」と考え、自分なりの考え方、保育観を構築できるように努めること。	・テキストや指針や要領を必ず持参のこと。 ・指導計画を作成するための保育内容を考えておくこと。 ・日常生活の中でも子ども観察をし、発達に合わせた保育立案に役立てる。 ・演習がある時は、事前に保育内容を考えておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			・カリキュラムについての理解を確認する。 ・指導計画をデザインする際に大切にすべきことを理解できているか評価する。 ・全体的な計画・教育課程の意義及び編成の方法を理解し、長期や短期指導計画を作成することができるか、互いの計画の整合性を理解できているかどうかを評価する。 各１０点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		レポート	30	①	✓			・指導計画の意義について理解できているか。１０点 ・指導計画をデザインするために重要点が理解できている。１０点 ・様々なカリキュラムの意義を理解し考えをまとめているか。１０点
				②				
				③	✓			
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			・指導計画の基本を押さえて作成できているか。１０点 ・子どもの発達を理解した指導計画が作成できているか。１０点 ・PDCAサイクルの基づいた指導計画が作成できているか。１０点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）年齢に合わせ指導計画を作成できる。 （実行力）課題に沿って指導計画を作成できる。 （課題発見力）事例を読み解き、指導計画の構成を理解し実践に結び付ける。 （創造力）豊かな発想をもち、子どもの発達過程を予測して実現性の高い指導計画を作成できる。 （発信力）立案した指導計画を分析し説明することができる （傾聴力）他者の計画・分析を自分の意見や考えとを比較し再構築できる。 （規律性）遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 受講態度（学習意欲欠如、課題などの未提出）が不適切の場合は減点とする 6回以上の欠席は放棄判定となる
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合				100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラムの意義を理解できている。 子どもの姿を反映し、独自性を持った指導計画の立案ができる。 総合評価90点以上 S（秀） 89～80点 A（優）	授業態度、提出物の期限を守り、カリキュラム作成の理解ができている。 子どもの姿を反映した、指導計画が立案できる。 総合評価79～70点 B（良） 69～60点 C（可）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 保育の基本とカリキュラム	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	授業の目的、授業内容、進め方、受講態度、評価方法についての説明を聞き理解する。保育の基本とカリキュラムの意味を知る。	(予習) テキストのはじめにを読んでおく。 (復習) カリキュラムについてまとめておく。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
2	保育実践とカリキュラムの意義	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	保育実践においてカリキュラムを編成することの意義や活用の利点について理解する。	(予習) テキスト1～10を読んでおく。 (復習) 保育実践とカリキュラムの意義についてまとめる。	180	課題発見力
3	保育実践とカリキュラムの位置づけと関係	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	カリキュラムの種類やカリキュラム編成の流れや実践例を通して保育実践とカリキュラムとの関係を理解する。	(予習) テキスト11～20を読んでおく。 (復習) 保育実践とカリキュラムの位置づけをまとめる。	180	課題発見力
4	保育所保育指針における「全体的な計画」の基礎理解	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習(全体的な計画) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	保育所では、保育所保育指針に挙げられた保育の目標と計画の基本的な考え方を知るとともに、全体的な計画と指導計画の関係性を理解する。	(予習) 保育所保育指針の総則を読んでおく。 (復習) 保育所保育指針と保育課程についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
5	保育所保育指針における「指導計画」の基礎理解	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習(年間指導計画) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	具体的な計画である「指導計画」について作成上のポイントや計画に対して基礎理解をし、指導計画を作成することができる。	(予習) 指導計画の作成について予習しておく。 (復習) 作成上のポイントをまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
6	幼稚園教育要領における「教育課程」の基礎理解	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習(教育課程) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	幼稚園教育要領における「教育課程」には保育を行うにあたっての保育の方向性が書かれている。教育課程の編成の方法や意義とは何かを理解する。	(予習) 幼稚園教育要領の教育課程の意義を読んでおく。 (復習) 幼稚園教育要領と教育課程についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
7	幼稚園教育要領における「指導計画」の基礎理解	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習(短期指導計画) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	具体的な計画である「長期の指導計画」や「短期の指導計画」について編成のポイントや計画に対して基礎理解し作成することができる。	(予習) 指導計画作成のポイントを予習しておく。 (復習) 作成上のポイントをまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
8	乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開(1)	演習 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習(月指導計画) 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	0・1・2歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義を考える。	(予習) 乳児の発達の特徴を理解し指導計画を考えておく。 (復習) 演習を再確認しデザインし直す。	180	主体性 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	乳児保育における「指導計画」のデザインと実践展開（２）	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習（連絡帳） 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	0・1・2歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを理解する。 また、家庭との連携についても理解する。	（予習）乳児の生活の流れを把握しておく。 （復習）家庭との連絡を見直し、再記入してみる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
10	幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開（１）	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習（週指導計画） 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	3・4・5歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義が分かる。	（予習）幼児の発達の特徴を理解しておく。 （復習）週指導計画のポイントをまとめ週指導計画を見直す。	180	計画力 傾聴力
11	幼児保育における「指導計画」のデザインと実践展開（２）	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習（日指導計画案） 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	3・4・5歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを理解する。 また、家庭と地域との連携についても理解する。	（予習）年齢による保育内容の編成を考える。 （復習）季節や時期、場所や人数による保育内容の編成をする。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
12	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開（１）	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習（食育計画・長時間保育指導計画） 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	長時間・延長保育、預かり保育の「指導計画」の実施状況や留意点について理解する。	（予習）指導計画の多様性を調べておく。 （復習）指導計画の多様性についてまとめる。	180	計画力 創造力
13	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開（２）	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 演習（保幼小連携指導計画） 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	保幼小連携の「指導計画」作成の意義や課題について考えることができる。	（予習）保幼小連携とはどのようなことを考えておく。 （復習）保幼小連携とはどのようなことをまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
14	記録・反省・評価から再立案へ	演習 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 指導計画についての評価反省の考え方 本日の学びと質疑応答をしフィードバックする。	保育者が保育実践を記録することの意味や方法について学ぶとともに保育士及び保育所の自己評価との関係性を理解する。	（予習）実習記録に目を通し、自己の課題を考える。 （復習）フィードバックのプリントをもとに理解を深める。	180	発信力 傾聴力
15	学校教育への接続を考えたカリキュラム・マネジメントについて	講義 前回授業の質疑応答によりフィードバックをする。 本日の学びの質疑応答をしフィードバックする。	小学校との接続を考えた保育所児童保育要録と学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解する。	（予習）小学校への接続について考える。 （復習）小学校への連続性を考えたカリキュラム・マネジメントについて理解を深める。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力